

短納期対応でCAD図面の3Dモデル化 小ロット対応でも成果に直結 半導体製造装置関連部品やタービン関係の精密加工で高評価得る

「最大の魅力は、振れがないので狙った精度通りの加工ができること」
作田常務に聞くスーパーG1チャックの魅力
呉匠(広島県江田島市) 訪問



スーパーG1チャックを手にする作田常務

「スリムで剛性のあるスーパーG1チャックに着目。150ミリと言う、突き出し量の長いアルミ加工でもどびらない」
1万5千回転でも安定加工実現

クアトロヘッド(微ヘッド)との組み合わせの相性が特にいいとのことだ。昨年8月には、働き方改革、人手不足への対応としてDMU60evoを追加導入した。「夜間運転向けとしてパレットチェンジャー付まで現場に据えた。工程を集約し、大幅な納期短縮という結果を出しているが、ここでもスーパーG1チャックが活躍している。振れがないので狙った精度通りの加工ができる。評価のポイントはこの「振れがない」と「振れのない魅力」に言及する。

DMG森精機製「DMU 65 monoBLOCK」導入時にツーリングを検討

「ものづくりの変化で捉えれば、納期が段々とシビアになってくるなかから、弊社では5年前からCAD図面の3Dモデル化に取り組んできたことが挙げられる。モデルを讀み込んだ加工データさえあれば、現場スタッフが素早く作りこんでいるから、結果的に、短納期、小ロット対応が可能になってきた」と言う。さらには3年前からはCAMにも習熟し、シミュレーションまで行うようになり、「ものを作るハードルが下がったばかりか、ミスの解消もつなげられた」と大きく影響している。社名変更、移転の理由を説明してくれた。半導体製造装置関連部品がおおそ半分を占め、次いで火力水力発電に絡むタービン関係、残りは食品自動車といった多様な産業と向き合っている。U1ロットは10個、50個が大半だ。設備導入の面に目を向ければ、差別化の観点から、5年前に初めての軸加工機を導入するなど変化の波が押し寄せた。「同時に5軸の動きに魅入られDMG森精機製のDMU 65 monoBLOCKを導入した。この時、CKを導入した。このツリーも試してみた」と思い、スリムで剛性の高いものを探し、YUKIWAの動画で眼に留めたのがユキワ精工のスーパーG1チャックだった。その、内部の構造を見て直感的に「すごい」と思いつまじく「径違いのスーパーG1チャックを6本、手当てした。「150ミリという、突き出し量の長いアルミ加工で従来の加工ができていたが、スーパーG1チャックを試したらびびり、まい、スーパーG1チャックに付け替えると、1万5千回転の高速もどびらず、安定的に加工ができるようになったのが最大の魅力だった。でも、多少の加工ができるようになったことになる。」

「因みに弊社ではこのスーパーG1チャックとダイジェット工業製のシャンクアーバヘッドとの相性の良さも豊富にある。最後に望に挙げたのがスーパーG1チャックの長さのバリエーション。」

ダイジェット工業製
シャンクアーバヘッド一徹、
ヘッドとの相性の良さも

「社内公募により、呉の技術者を中心に、匠のイメージを残しつつ、匠の技を駆使していく企業を社名に表した。請け負った部品加工の仕事が、複雑化、精密化してきたことが大きく影響している」と社名変更、移転の理由を説明してくれた。半導体製造装置関連部品がおおそ半分を占め、次いで火力水力発電に絡むタービン関係、残りは食品自動車といった多様な産業と向き合っている。U1ロットは10個、50個が大半だ。設備導入の面に目を向ければ、差別化の観点から、5年前に初めての軸加工機を導入するなど変化の波が押し寄せた。「同時に5軸の動きに魅入られDMG森精機製のDMU 65 monoBLOCKを導入した。この時、CKを導入した。このツリーも試してみた」と思い、スリムで剛性の高いものを探し、YUKIWAの動画で眼に留めたのがユキワ精工のスーパーG1チャックだった。その、内部の構造を見て直感的に「すごい」と思いつまじく「径違いのスーパーG1チャックを6本、手当てした。「150ミリという、突き出し量の長いアルミ加工で従来の加工ができていたが、スーパーG1チャックを試したらびびり、まい、スーパーG1チャック



呉匠で活躍する主力の機械設備がDMUだ

ユキワだけ精度を保証!

しています。



精度をとことん突き詰めると、コレット式に辿り着く

高精度ツーリングシステム
スーパーG1チャック